

高齢者を狙う 催眠商法に注意してください

催眠商法(SF商法)とは…

■人を集めた会場で、無料で日用品などを配布したり、販売員が面白い話で楽しませたりすることで雰囲気盛り上げ、会場の雰囲気で催眠状態となった来場者に最後、高額な商品(主に布団や健康食品、健康器具など)を購入させる商法です。

『健康講座』、『日用品の格安販売会』、『新製品の体験会』といった名目で、空き店舗などの会場に人を集めます。

被害者は主に高齢者

■臨時的に倉庫や空き店舗で営業を行うため、短期間で業者がいなくなってしまうのが催眠商法の特徴と言われていました。しかし最近、数か月以上の長期にわたって販売会を開催し、顔なじみになった来場者に個別に声をかけ高額な商品を次々に勧めるといった手口も見られます。

催眠商法の契約者は主に高齢者。支払いの平均額は100万円を超えており、中には老後の資金を崩してまで商品を購入していた例もありました。



トラブル回避のアドバイス



★安易に会場に近づかない

会場に何度も足を運ぶと、販売員と関係が構築されてしまい勧誘を受けると断りにくくなります。

★「今日だけ」などの言葉にまどわされない

会場に行っても「今日だけ」「特別」などの言葉に惑わされず、大切な老後の資金を取り崩してまで購入しないといけない商品か、よく考えてください。

★まわりの人にも相談する

高額な商品の契約は家族間のトラブルのきっかけになることがあります。購入する前に、周りの人に相談してみましょう。

家族や周囲の方へ

高齢者の中には、一人暮らしの寂しさから催眠商法にのめりこんでしまう人もいます。頭ごなしに否定せず、高齢者の話にも耳を傾け、同じようなトラブル事例を伝えるなどしながら寄り添った話し合いを心がけてください。

